

ライオン通信

<URL><http://www.kooge.jp/>

Vol. 129 平成26年9月10日発行

郡家コンクリート工業株式会社
〒680-0433 鳥取県八頭郡八頭町山上 363-17
TEL(0858)73-0500 FAX(0858)73-0535

環境に優しいコンクリート舗装



生コン需要が今年度は大きく落ちています。前年はアベノミクスの恩恵で伸びましたが、長期的に見て生コン需要はずっと減少しています。

鳥取県東部地区生コン組合と鳥取県生コン工業組合は、数年前から生コンの需要開拓として『コンクリート舗装』の普及PRに力を入れています。今年も重点課題として取り組み、先日も国交省の鳥取・倉吉両河川国道工事事務所と中国地方整備局に陳情を行いました。普及が進まない一番の理由はその価格差でしたが、今ではライバルのアスファルト舗装に対して初期建設費の価格差は500円/m²程度になりました。近頃では原油価格の高騰からアスファルトは全国平均106,000円/tで、最近2年間で2割上昇しましたが、生コンは11,150円/m³で同じ期間の値上げ幅は2%にとどまっています。また、数年ごとに舗装のやり直しが必要なアスファルト舗装に比べて20年間は大規模な修繕が不要なコンクリート舗装は長期的に見ると2割ほど安くなります。従来は交通開放に時間がかかることなどがネックになり、思うように普及していませんでしたが、今では24時間で交通開放できる1DAY PAIVE（ワンデイペイブ）などの技術も確立し、アスファルト舗装に対して不利な点もほとんど解決しています。

ぜひコンクリート舗装の採用をご検討ください。

環境

車の燃費低減

コンクリート舗装はアスファルト舗装に比べて大型車では燃費を約3%改善でき、CO₂の排出量も年間94万t-CO₂削減できる。

機能性

都市型洪水の抑制

ポーラスコンクリート舗装にすることで雨水を一時路盤内に貯留することができ、都市型洪水を緩和する効果がある。ポーラスコンクリートはポーラスアスファルトに比べて、空隙潰れや目詰まりを起こしにくいので長期にわたって効果が続く。

環境

道路が明るくなる

コンクリート舗装は色が白いので、視認性が30%程度改善し夜間の走行安全性が高まる。そのためアスファルト舗装に比べて道路照明費用が約20%削減できる。

機能性

交通騒音の低減

ポーラスコンクリート舗装や小粒径骨材露出工法を採用することにより、路面騒音を低減させ環境の静穏化を図ることができる。

再生

リサイクルの促進

セメント1tを製造するのに400kg以上の産業廃棄物(スラグ、建設発生土、汚泥、廃タイヤなど)が使われている。そのためセメントの積極的な利用は、産業廃棄物の有効活用や最終処分場の延命に大きく寄与し、循環型社会の形成を促進することになる。

明色性

ヒートアイランド現象の抑制

コンクリート舗装はアスファルト舗装に比べ日射反射率が4倍高く、舗装の熱吸収が少ない。そのため路面温度は約10℃低くなるのでヒートアイランド現象を抑制し、快適な居住空間を創ることができます。

耐久性

維持管理の省力化

コンクリート舗装の耐用年数は概ね40年で最大70年とされている。このため維持修繕費用がほとんど発生しない。また、アスファルト舗装のような維持修繕工事を行わないことで、工事による交通渋滞など環境への悪影響がない。

施工性

生コン舗装

生コン舗装は安全、簡易に施工できるので、市町村の材料支給制度を活用した、地域住民によるボランティア施工が簡単にできる。



会計検査 Q & A

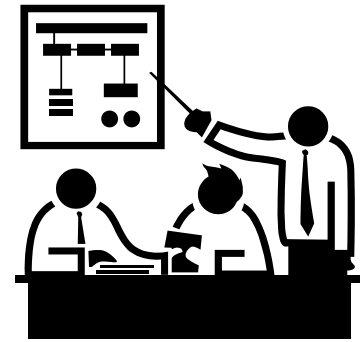
今月も、『公共工事と会計検査』の改訂 10 版より「会計検査 Q&A」をご紹介します。
一息ついて読んでいただければ幸いです(^-^)/

著者の市川 啓次郎 (いちかわ けいじろう)氏 は 昭和 19 年生まれ。
元会計検査院 国土交通統括検査室長を務め、現在は財団法人経済調査会の技術顧問としてご活躍中です。

今月の質問：用地・補償の検査を強化？

質 問

最近の検査報告においては、これまでに比べ用地・補償に関する指摘が多いように思うが、会計検査院は特に重点的に検査をしているのか？また、用地・補償において、該当の土地について不動産鑑定士に鑑定を依頼し報告を受けた価格に基づいて補償した場合についても検査で問題にされることはあるのか？



回 答

公共事業の検査において、用地・補償に関する分野は一貫して検査の重要テーマであり、会計検査院が最近になって特別にこの分野の検査体制を強化しているということはないと思います。それでも、補償の問題は会計検査の場で色々議論になることは多いものの、最終的に不当事項として検査報告に掲記されることはあまり多くありませんでした。工事の設計や積算のように数字だけで割り切れない補償の難しさについて、検査院もかなり慎重な態度をとってきたともいえます。

しかし、ご指摘のように最近の検査報告では、毎年のように用地・補償に関する指摘が少なからず掲記されており、従来に比べ増加しているのは事実です。このことは、検査院が用地・補償に関する問題について、正確性・公平性の観点から従来より積極的に指摘するようになったという見方も成り立つかもしれません。

また、補償価格が不動産鑑定士の報告に基づいていることをもって、会計検査対象から除外されるものではありませんが、今まで不動産鑑定士による鑑定価格に問題があったとして指摘になったということはないはずです。

それに対して、事業主体が不動産鑑定を依頼せずに決定した補償価格に検査院が疑義を持ち、改めて不動産鑑定士に鑑定を依頼した結果、支払った補償価格が過大であったと指摘した事例が最近あります。



レオちゃん

の製品紹介コーナー



◆◆◆ W²R側溝蓋 ◆◆◆

NETIS 登録済
登録 No. SK-050002-V

鳥取県新技術・新工法活用
システム登録済



こんにちは！ ライオン通信のレオちゃんです♪

今月は『W²R(ダブルツール)側溝蓋』のご紹介です！

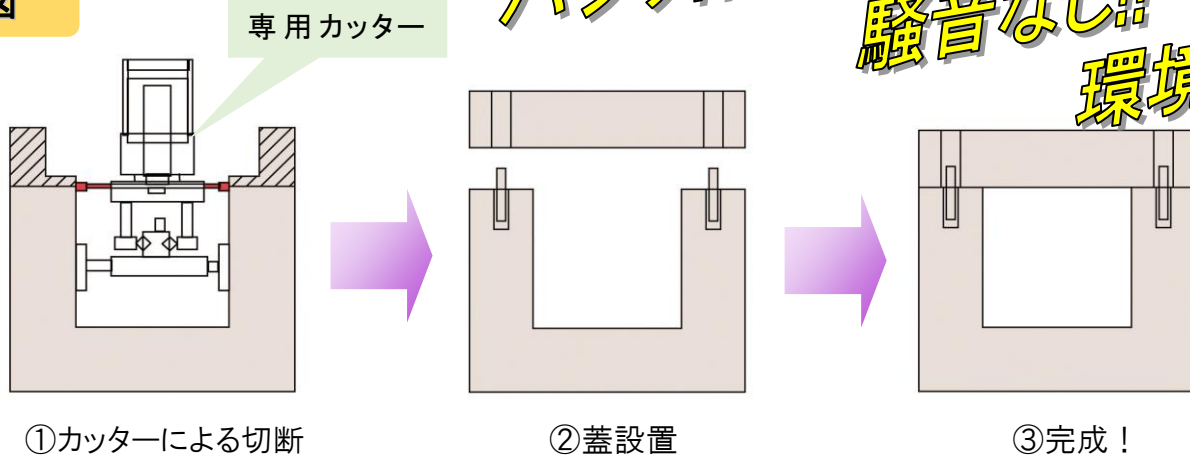


W²Rとは『Water Way Renewal』の略であり、既設側溝の不要部分を専用カッターによって側溝内側より切断した後に、蓋を設置します。W²R側溝蓋は、バリアフリー・施工性・歩行性・排水性に優れた製品です。

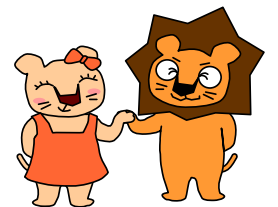
また、平成26年3月に鳥取県新技術・新工法活用システムに登録されました。

画期的なW²R側溝蓋を詳しくご紹介します！是非ご検討下さい♪

概要図



ハツリ作業なし!!
騒音なし!!
環境に優しい!!

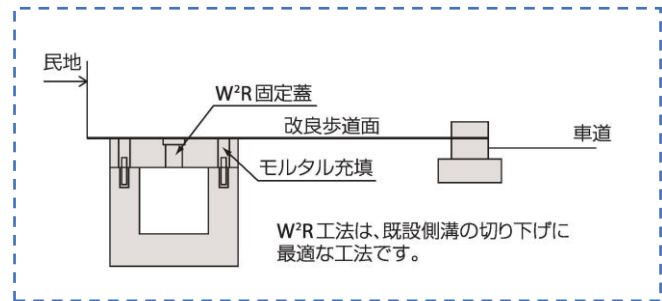
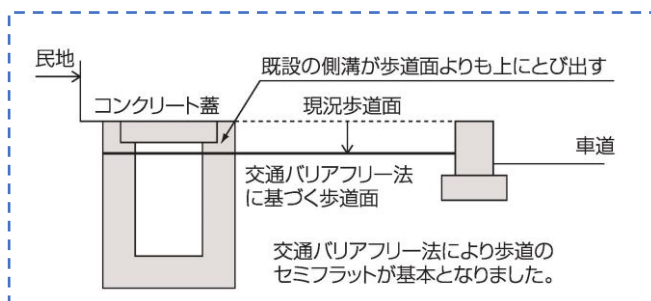


特長・用途

●歩道のバリアフリー化を推進します

現在、歩道の高さが車道より高くなっている箇所が多く、その段差を解消するため歩道を低くする工事が全国各地で始まっています。これに伴って歩道脇の側溝を切り下げる工事が必要となってきました。

国土交通省が制定した「道路の移動円滑化整備ガイドライン」では、車道からの歩道の高さを標準で5cmと定めています。



●急速施工の実施(側溝蓋の維持・補修)により、従来の1/6に短縮

店舗や住宅地など車の乗り入れが多い場所は、老朽化した側溝の破損が見受けられます。W²R側溝蓋を使うことで、側溝本体を取り替えることなく短期間で工事を行うことができます。

側溝延長 10m当り/1箇所

| | 1日目 | 2日目 | 3日目 | 4日目 | 5日目 | 6日目 |
|---------------------|----------|--|----------|-----|-----|--------------|
| 従来工法 | 蓋撤去 はつり | 型枠設置 | コンクリート打設 | 養生 | 脱型 | 蓋設置 |
| W ² R側溝蓋 | 施工日数:約1日 | 蓋撤去:1.5h 鉛直切断・水平切断:3.0h モルタル・アンカー・蓋設置:3.0h | | | | 施工日数が1/6に短縮! |

●表面排水性に優れています

- ・蓋上面に連続スリットを設けたことで縦断方向どこからでも雨水が取り込めるので、歩道面の排水性が良好です。
- ・蓋版上面の集水部の形状により、スリットタイプとグレーチングタイプの2種類があります。
- ・グレーチングタイプは取水量が多い場所や横断歩道部に使用します。
- ・歩道の横断勾配が民地側に取りられている場合、歩道から民地側に流れ込む雨水の量を低減できます。



スリットタイプ

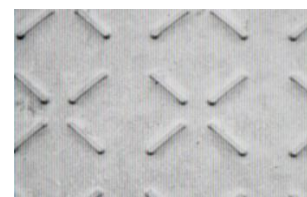


スリットタイプ(管理孔付)
グレーチング4点ボルト固定

蓋上の連続スリットで排水性が抜群!

●歩行性に優れています

表面模様があり、滑りにくく安全に歩けます。



模様拡大図

フラットタイプなので車椅子やベビーカーを使用する方に優しい作りになってるね♪



W²R側溝蓋は、日本興業株式会社様のご協力を頂いております。



美しく豊かな環境づくりに貢献

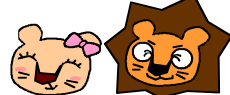
日本興業株式会社

<http://www.nihon-kogyo.co.jp/>

弊社ホームページでもW²R側溝蓋を掲載しております♪是非ご覧ください!

こおげコンクリート

検索



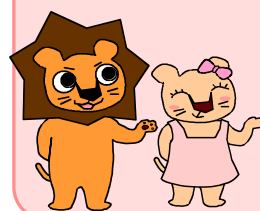
◆製品に関するお問い合わせ☆資料請求は

直通電話:0858-73-0500

までお気軽にどうぞ!

FAX : 0858-73-0535

E-mail : info@kooge.jp



◆◇◆編集後記◆◇◆

先月の広島市の土石流災害には驚きました。あのような悲惨な災害が広島市内で起きた事に驚きました。今後は今まで以上に防災・減災に役立つ製品を作っていかなければいけないと強く思いました。これから本格的な台風シーズンになりますので、皆さんもお気をつけください。

(山根)



<URL><http://www.kooge.jp/>

<e-mail>info@kooge.jp